

2013年度 決算説明会

2014年5月21日

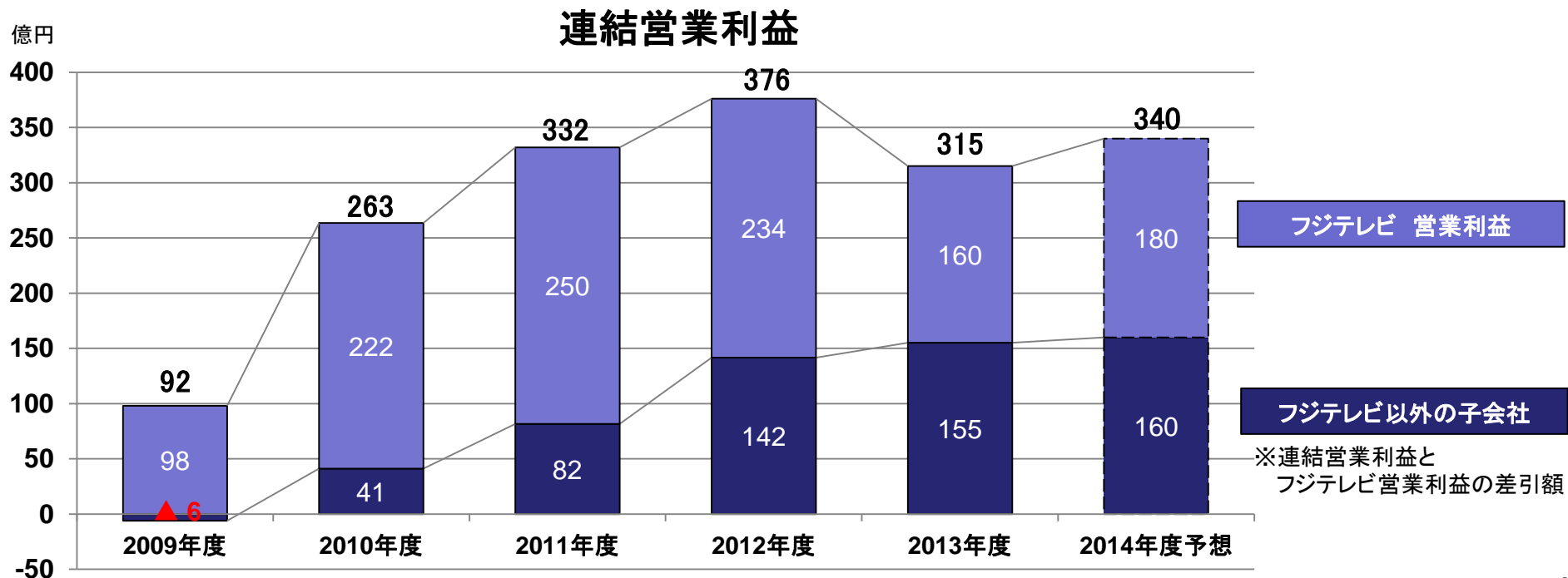
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

グループの現状と 経営ビジョン

2013年度、4期ぶりの営業減益 2014年度は再び増益へ

- 持株会社とフジテレビの役割を明確にし、それぞれの課題に注力
フジテレビ 視聴率向上と放送収入改善を図る
- フジテレビ以外の子会社の営業利益は過去最高の155億円



■ 事業領域を拡大、放送を中心としつつも

グループ全体で収益を獲得する強靱な経営体質へ

2013年度 営業利益 315億円



デジタル分野の開拓

■ 番組配信事業が急速に売上を拡大

モバイル端末向け配信を中心に、
引き続き高い成長を期待

■ ゲーム事業 着実に成長、新たな段階へ

社内製作のオリジナルゲームが収益貢献
スマートフォン向けゲームアプリの伸びを期待

モバイルオンラインゲーム開発会社
「Fuji & gumi Games」を合併で設立
(2014年1月)

「フジ・スタートアップ・ベンチャーズ」が出資、
海外市場も視野に、大型作品を開発

海外での新規事業

■ 「エフ・アイ・メディア企画」 (伊藤忠商事との合併)

アジアのテレビ局と連携、通信販売や
音楽権利分野で事業化のトライアル



音楽オーディション番組「ASIA VERSUS」
アジア4地域で放送

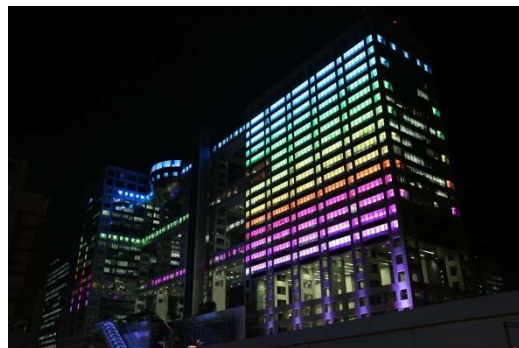
アジアで新たな事業展開を目指す

■ MICE/IR構想を政府の国家戦略特区に提案（2013年9月）

- ◆ 事業化へ向けて共同提案パートナー各社と共に準備作業を推進
- ◆ 国際観光拠点としての台場の優位性を活かした計画作りを目指す

■ 台場地区の「開拓者」として、エリアの魅力を高める発信を継続

社屋イルミネーション
「GLITTER8」



東京都の「臨海副都心MICE
拠点化推進事業」に参加

シルク・ドゥ・ソレイユ
「OVO」(オーヴォ)



台場地区で初の開催、大盛況

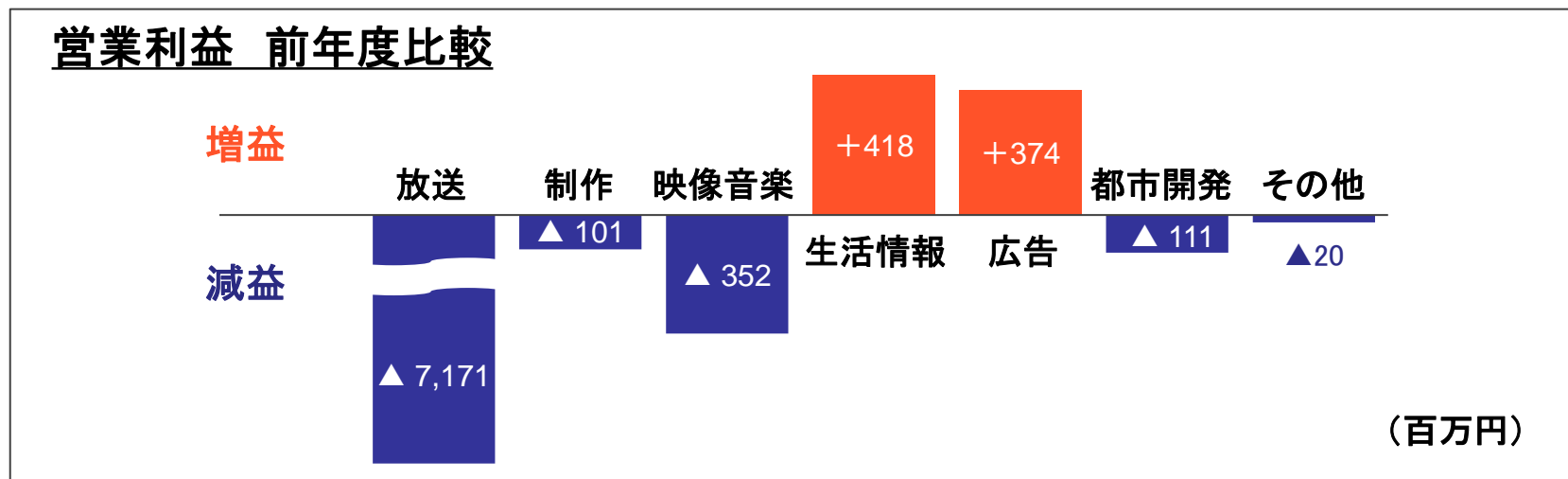
夏の社屋イベント
「お台場新大陸」



2013年は420万人を動員
2014年はエリアを拡大して開催へ

当社の業績動向と 取り組みの現状

■ 連結営業利益315億円 増収ながら減益



■ フジテレビ

広告収入のマイナスにより減収減益
放送以外ではイベントなどが好調

■ 映像音楽

アニメ「進撃の巨人」の大ヒットなどで増収
出資作品の増加により原価増

■ 都市開発

資産開発事業のビル売却が貢献
ビル事業のテナント入れ替えの影響をカバー

■ 生活情報

ディノス カタログ・テレビとも好調で大幅増益
セシール 上期は売上苦戦 販促費投入で減益

業績概要

(単位:百万円)

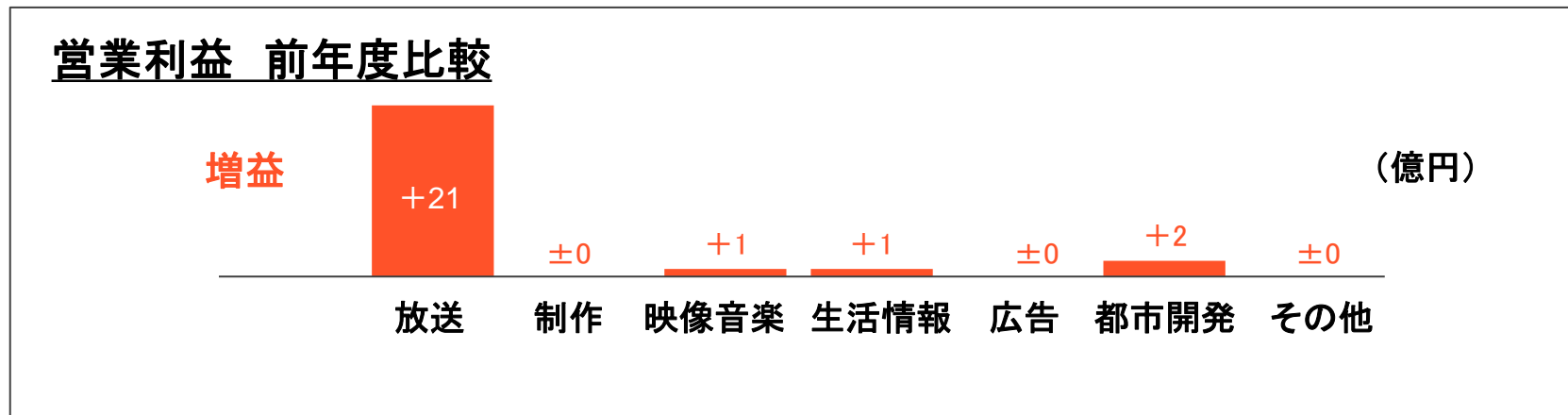
連結	第4四半期			通期		
	2014年 1月～3月	2013年 1月～3月	増減率	2013年度	2012年度	増減率
売上高	172,958	161,401	7.2%	642,145	632,029	1.6%
営業利益	7,370	6,593	11.8%	31,527	37,608	▲16.2%
経常利益	7,605	6,806	11.7%	34,838	47,209	▲26.2%
当期純利益	3,487	4,404	▲20.8%	17,282	31,337	▲44.8%

※2012年度(通期)の経常利益および当期純利益には、関西テレビ放送の株式取得に係る負ののれん発生益(68億円)が含まれます。

(単位:百万円)

フジテレビ	第4四半期			通期		
	2014年 1月～3月	2013年 1月～3月	増減率	2013年度	2012年度	増減率
売上高	79,446	77,671	2.3%	316,846	323,581	▲2.1%
営業利益	2,511	2,753	▲8.8%	16,004	23,449	▲31.7%
経常利益	2,567	2,705	▲5.1%	16,036	23,548	▲31.9%
当期純利益	1,458	948	53.8%	8,599	13,177	▲34.7%

■ 連結営業利益340億円 増収増益を見込む



■ フジテレビ

堅調な広告需要が見込まれる中、視聴率改善を図り、増収増益を見込む

■ その他の子会社

各社の業績底上げにより、全体で収益の積み上げを図る

フジテレビ以外の営業利益合計は、前期を上回る160億円を目指す

2014年度 業績予想

(単位:百万円)

連結	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	313,300	2.0%	337,400	0.7%	650,700	1.3%
営業利益	13,100	▲9.0%	20,900	22.0%	34,000	7.8%
経常利益	14,500	▲7.0%	22,300	15.9%	36,800	5.6%
当期純利益	8,500	37.2%	14,100	27.2%	22,600	30.8%

(単位:百万円)

フジテレビ	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	162,300	0.8%	159,500	2.4%	321,800	1.6%
営業利益	7,700	▲5.7%	10,300	31.4%	18,000	12.5%
経常利益	7,800	▲4.7%	10,300	31.2%	18,100	12.9%
当期純利益	4,700	16.0%	6,400	40.7%	11,100	29.1%

	上期予想	下期予想	通期予想	
ネットタイム	▲1.9%	▲3.1%	▲2.5%	
ローカルタイム	0.5%	▲3.4%	▲1.5%	
スポット	5.4%	7.5%	6.5%	
放送収入	1.6%	2.0%	1.8%	(前年比)

■4月改編 視聴率向上に向け大規模な改編を実行

◆最大の課題である週末を中心とするG帯バラエティの強化へ、新番組を投入

◆平日昼帯に新型情報バラエティ「バイキング」

新たな昼の定番番組に向け、企画の改良と話題の発信を継続的に実施



今後も注目の企画を発信

アニメ、ドラマ、映画を同時進行で制作

フジテレビ開局55周年記念プロジェクト 『信長協奏曲(のぶながコンツェルト)』



2014年7月 アニメ放送開始

×

2014年10月 連続ドラマスタート

×

主演 小栗旬

劇場実写映画

2014年夏

『FNSの日 27時間テレビ(仮)』

総合司会にSMAPが初登場

2014年7月

月9ドラマ 『HERO』に決定

主演 木村拓哉

(単位: 億円)

	2013年度	2012年度	増減率
第1四半期	241	235	2.5%
第2四半期	247	257	▲3.9%
上期	488	492	▲0.8%
第3四半期	241	253	▲5.0%
第4四半期	253	247	2.4%
下期	494	501	▲1.3%
通期	983	993	▲1.1%

※自社制作番組及び
購入番組の直接費

■ その他事業

(単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減額
その他事業収入	50,770	46,750	4,019
イベント	17,842	10,041	7,801
映画	9,531	13,655	▲4,123
ビデオ	5,975	5,641	334
MD	6,498	6,964	▲465
デジタル	6,175	5,032	1,143
その他	4,745	5,415	▲670

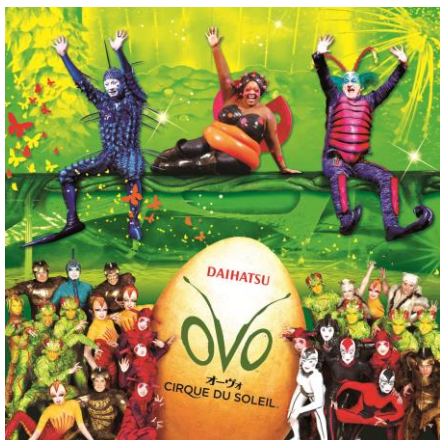
■ その他放送事業

(単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減額
その他放送事業収入	32,759	33,841	▲1,082
番組販売	18,318	18,925	▲607
CS放送・その他	14,440	14,915	▲474

イベント事業

■シルク・ドゥ・ソレイユ 「OVO」(オーヴォ)



東京、大阪、名古屋、福岡、
仙台で2015年6月まで公演

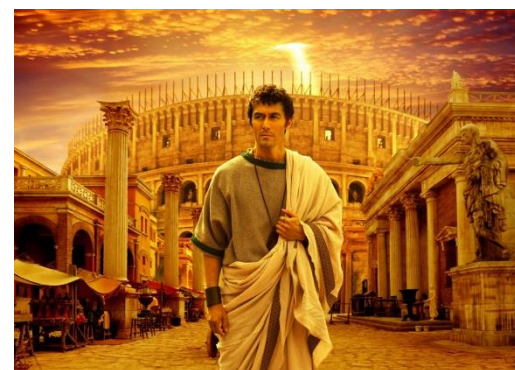


2014年度は通期にわたり大きな収益貢献を期待

映画事業

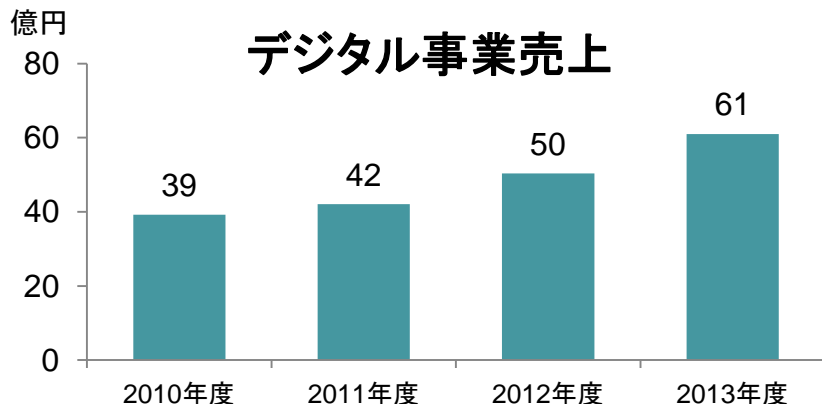
■「テルマエ・ロマエⅡ」大ヒット公開中

興行収入35億円（5月20日現在）



■今年度の主な作品

6月14日	春を背負って	松山ケンイチ 蒼井優 他 「劔岳 点の記」の木村大作監督 最新作
7月26日	幕末高校生	玉木宏 石原さとみ 他 時空を越えたエンタテインメント時代劇
9月13日	舞妓はレディ	上白石萌音 長谷川博己 富司純子 他 周防正行監督によるエンタテインメント作品
12月	バンクーバーの朝日	妻夫木聡 亀梨和也 佐藤浩市 他 フジテレビ開局55周年記念映画



デジタル事業の売上が拡大、60億円超え

売上100億円の規模も視野に入れ、
映画、イベントと並ぶ新たな柱を目指す

ゲーム事業 (デジタル事業)

◆オリジナル内製ゲームが収益を下支え



◆拡大するスマートフォンゲーム市場へ、 本格ゲームアプリを投入



5月末頃リリース
「ゴールドリベリオン」

5月末頃
リリース
「逃走中」



番組配信事業 (デジタル事業)

◆フジテレビオンデマンド



スマートフォン・タブレットによる視聴が急成長

豊富なドラマの見逃し配信が牽引

「めっちゃユル」等オリジナルコンテンツや

「ノイタミナ見放題」コース等の企画で顧客を拡大

◆フジテレビNEXT smart 開始 (2014年4月)



有料放送『フジテレビNEXT ライブ・プレミアム』を

モバイル端末等に24時間同時ストリーミング配信

F1GP生中継、音楽ライブなどで契約者を順調に獲得

一部番組は見逃し視聴も可能

「めっちゃイケ」発の連動プロジェクト

ビデオ事業

赤DVDシリーズ 大ヒット

第1巻～4巻 累計40万本突破

2014年5月 第5巻、6巻発売

「めっちゃ日本女子プロレス」



地上波番組



MD事業

めっちゃイケSA × EXPASA 足柄

オリジナルフードや
限定グッズが大人気

累計620万人を動員

9月まで営業延長決定



東名高速 足柄サービスエリアで開催中
番組にも登場

幅広い事業展開、ファンサービスで
放送番組の人気を盛り上げ

めっちゃ2 エルにできる!!



インターネット
無料・ライブ配信

「ゼロテレビ」

視聴数が順調に拡大
有料オンデマンド配信も人気



ゲームアプリ
「ガリタ食エスト」

無料アプリ
「ガリタマップ」



ガリタ食堂G級グルメ商品化



「めっちゃイケSA」発のメニューを
全国ファミリーマートで販売

ディノス・セシール（生活情報）

- ◆2013年7月「ディノス」「セシール」が合併
通販市場での存在感は一段と向上

- ◆「ディノス」事業

個人消費を確実に取り込み業績好調

- ◆「セシール」事業

ブランド強化に全力、売上は復調へ



『ディノス プレミアム』

高品質カタログで新顧客層を開拓

ポニーキャニオン（映像音楽）

- ◆パッケージ販売だけに依存しない体質へ

製作段階への参画・出資、
幅広い権利取得を強化

アニメ「進撃の巨人」が大ヒット

DVD、楽曲CDにとどまらず
多様な収益を獲得



『進撃の巨人』シリーズ

BSフジ（放送）

- ◆売上・営業利益で過去最高を記録

独自の編成で存在感を発揮

BS広告市場拡大の中、一層の収益貢献を目指す

サンケイビル（都市開発）

- ◆引き続き安定した高い収益貢献

収益性の高いビル資産への入れ替えを進める

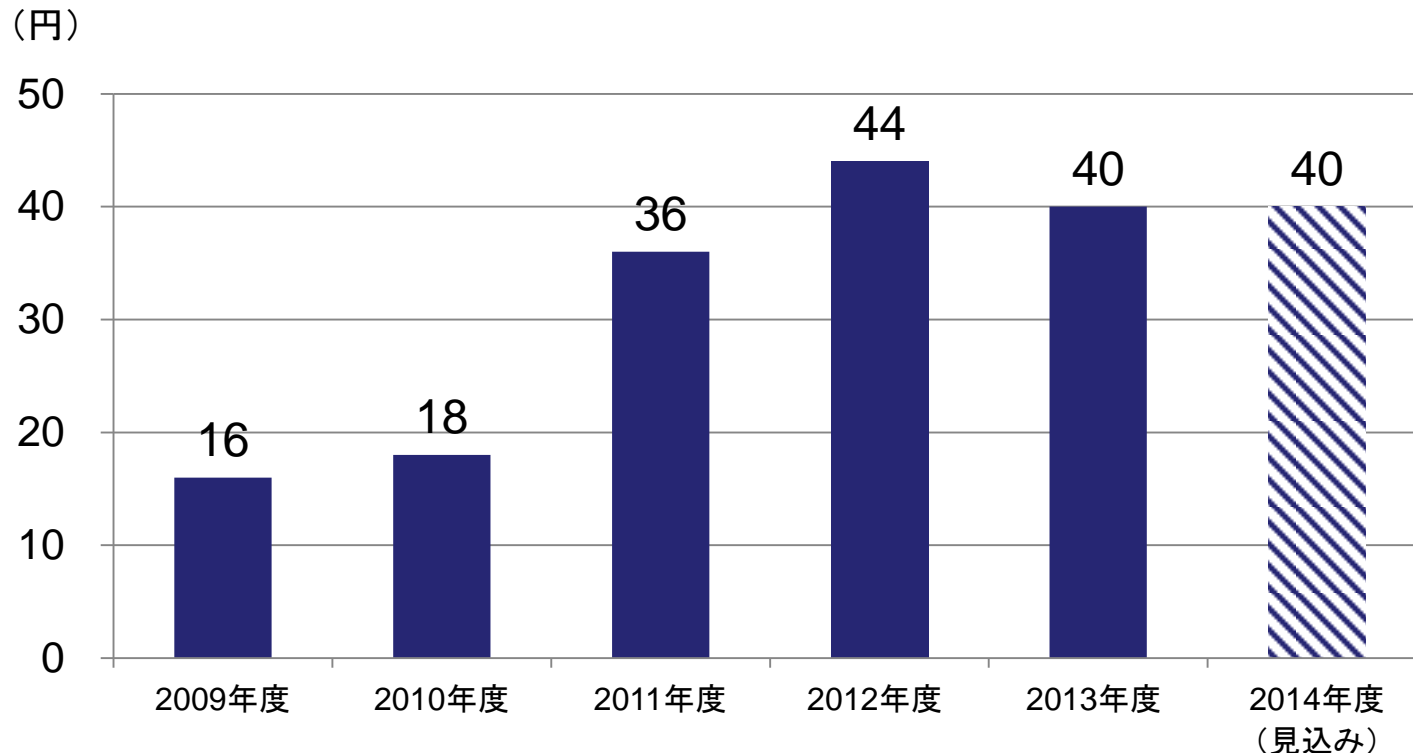
マンション販売事業の強化で収益拡大へ

2013年度配当 及び 2014年度配当予想

■ 2013年度 期末配当 18円 年間配当 40円

■ 2014年度 年間配当 40円（見込み）

※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。



参考資料

(単位: 億円)

設備投資計画		2013年度 通期 (実績)	2014年度 通期 (予定)	2015年度 通期 (予定)
設備投資額	連結	330	339	215
	フジテレビ	68	87	70
	都市開発事業	188	206	124
	フジ・メディアHD	4	7	3
減価償却費	連結	201	206	208
	フジテレビ	104	99	98
	都市開発事業	34	39	44
	フジ・メディアHD	24	24	23

フジテレビ 売上高・営業費用内訳

(単位:百万円)

	第4四半期			通期		
	2014年 1月～3月	2013年 1月～3月	増減率	2013年度	2012年度	増減率
放送事業収入	67,066	66,887	0.3%	266,076	276,831	▲3.9%
放送収入	59,060	58,623	0.7%	233,316	242,989	▲4.0%
その他放送事業収入	8,006	8,264	▲3.1%	32,759	33,841	▲3.2%
その他事業収入	12,380	10,783	14.8%	50,770	46,750	8.6%
売上高合計	79,446	77,671	2.3%	316,846	323,581	▲2.1%
放送事業原価	44,817	43,287	3.5%	175,585	177,181	▲0.9%
その他事業原価	9,972	9,642	3.4%	40,865	38,037	7.4%
販売費・一般管理費	22,145	21,988	0.7%	84,390	84,913	▲0.6%
営業利益	2,511	2,753	▲8.8%	16,004	23,449	▲31.7%

	第4四半期		通期	
	2014年 1月～3月	前年比	2013年度	前年比
ネットタイム	27,778	▲0.8%	108,728	▲4.0%
ローカルタイム	3,626	1.2%	14,719	▲3.7%
スポット	27,655	2.3%	109,868	▲4.0%
放送収入合計	59,060	0.7%	233,316	▲4.0%

(単位:百万円)

スポット収入業種別動向 2014年1月～3月

※管理ベース

業種	シェア	前年シェア	前年比	業種	シェア	前年シェア	前年比
通信	14.5%	12.8%	14.4%	アルコール飲料	4.6%	3.1%	51.9%
化粧品・トイレタリー	10.1%	10.1%	0.8%	衣料・身回品・雑貨	4.5%	4.2%	9.4%
外食・各種サービス	9.7%	9.8%	0.1%	医薬品・医療用品	4.1%	6.0%	▲31.6%
エンタテインメント	8.6%	9.3%	▲6.1%	不動産・住宅設備	3.7%	4.1%	▲8.2%
自動車・関連品	8.2%	8.8%	▲6.3%	事務・精密・光学機器	3.1%	3.6%	▲12.2%
食品	6.2%	6.7%	▲5.7%	交通・レジャー・観光	2.9%	2.2%	34.2%
非アルコール飲料	6.1%	5.7%	7.5%	家電・AV機器	1.6%	0.9%	83.9%
金融・保険	5.6%	5.6%	1.1%	エネルギー・機械	0.3%	0.4%	▲34.3%
流通・小売業	4.8%	5.4%	▲10.4%	その他	1.2%	1.4%	▲14.6%

セグメント別業績【通期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2013年度	2012年度	増減率	2013年度	2012年度	増減率
放送	346,861	352,088	▲1.5%	18,170	25,342	▲28.3%
制作	51,487	51,720	▲0.4%	2,838	2,940	▲3.5%
映像音楽	60,182	58,690	2.5%	2,219	2,572	▲13.7%
生活情報	139,725	132,323	5.6%	1,490	1,072	39.0%
広告	44,045	41,127	7.1%	457	82	453.2%
都市開発	43,410	40,172	8.1%	5,333	5,444	▲2.0%
その他	27,669	27,430	0.9%	720	741	▲2.8%
調整額	▲71,236	▲71,525	-	298	▲586	-
連結	642,145	632,029	1.6%	31,527	37,608	▲16.2%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績【第4四半期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2014年 1月～3月	2013年 1月～3月	増減率	2014年 1月～3月	2013年 1月～3月	増減率
放送	88,788	85,265	4.1%	3,213	2,985	7.6%
制作	13,744	13,550	1.4%	617	559	10.5%
映像音楽	15,553	16,189	▲3.9%	844	801	5.3%
生活情報	36,947	30,948	19.4%	405	▲260	-
広告	12,298	10,959	12.2%	127	16	692.1%
都市開発	17,399	15,846	9.8%	1,993	2,346	▲15.0%
その他	7,471	7,393	1.1%	166	148	12.4%
調整額	▲19,244	▲18,751	-	1	▲2	-
連結	172,958	161,401	7.2%	7,370	6,593	11.8%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

■ ニッポン放送(放送事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	18,360	19,203	▲4.4%
営業利益	147	100	46.4%
経常利益	62	184	▲66.0%
当期純利益	▲691	111	-

■ ポニーキャニオン(映像音楽事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	46,702	45,380	2.9%
営業利益	1,236	1,661	▲25.6%
経常利益	1,450	1,774	▲18.3%
当期純利益	554	1,014	▲45.3%

■ BSフジ(放送事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	13,810	11,816	16.9%
営業利益	1,941	1,689	14.9%
経常利益	1,992	1,721	15.8%
当期純利益	1,190	1,176	1.2%

■ ディノス・セシール(生活情報事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	121,984	115,330	5.8%
営業利益	1,624	1,555	4.4%
経常利益	1,767	1,728	2.2%
当期純利益	1,240	▲1,008	-

※2013年7月の合併前は、ディノス、セシール(単体)、フジ・ダイレクト・マーケティングの合計

■ クオラス(広告事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	41,299	38,491	7.3%
営業利益	406	170	138.7%
経常利益	442	200	120.6%
当期純利益	203	30	573.0%

■ サンケイビル(都市開発事業) (単位:百万円)

	2013年度	2012年度	増減率
売上高	35,743	33,003	8.3%
営業利益	5,664	4,736	19.6%
経常利益	4,574	3,601	27.0%
当期純利益	2,273	250	808.4%

セグメント別業績予想【通期】

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2014年度 通期予想	2013年度 通期	増減額	増減率	2014年度 通期予想	2013年度 通期	増減額	増減率
放送	3,518	3,468	49	1.4%	203	181	21	11.7%
制作	512	514	▲2	▲0.6%	29	28	0	2.2%
映像音楽	593	601	▲8	▲1.5%	24	22	1	8.2%
生活情報	1,416	1,397	18	1.3%	16	14	1	7.4%
広告	433	440	▲7	▲1.7%	5	4	0	9.4%
都市開発	495	434	60	14.0%	56	53	2	5.0%
その他	273	276	▲3	▲1.3%	7	7	0	▲2.8%
調整額	▲733	▲712	-	-	0	2	-	-
連結	6,507	6,421	85	1.3%	340	315	24	7.8%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績予想【上期】

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2014年度 上期予想	2013年度 上期	増減額	増減率	2014年度 上期予想	2013年度 上期	増減額	増減率
放送	1,757	1,737	19	1.1%	90	91	▲1	▲1.6%
制作	244	252	▲8	▲3.3%	12	12	0	▲7.1%
映像音楽	305	304	0	0.1%	8	9	▲1	▲15.1%
生活情報	644	623	20	3.2%	▲6	▲2	▲3	-
広告	210	204	5	2.7%	2	1	0	12.4%
都市開発	196	179	16	9.0%	22	25	▲3	▲13.6%
その他	133	131	1	1.0%	3	4	▲1	▲29.2%
調整額	▲356	▲361	-	-	0	1	-	-
連結	3,133	3,072	60	2.0%	131	143	▲12	▲9.0%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

- P. 13 : © フジテレビ
- P. 13 : © 石井あゆみ／小学館 ゲッサン
- P. 16 : Costumes : Liz Vandal © 2013,2014 Fuji Television
- P. 16 : © 2014「テルマエ・ロマエⅡ」製作委員会
- P. 17 : © 水木プロ／フジテレビ
- P. 17 : © ヤマザキマリ／ PUBLISHED BY ENTERBRAIN, INC. © 2012「テルマエ・ロマエ」製作委員会
- P. 17 : © フジテレビ／プレイハート
- P. 17 : © システム・クリエート／フジテレビジョン／クロノス
- P. 18 : © フジテレビジョン
- P. 19 : © 諫山創・講談社／「進撃の巨人」製作委員会